

2024年度（令和6年度）事業計画書

住宅型有料老人ホームゆふ

1 施設を取り巻く現状と課題

(1) 事業の種類及び利用定員

住宅型有料老人ホーム

定員：22名

(2) 区市町村等からの受託、補助事業等

なし

(3) 地域における公益的な取組

地域の清掃活動として、1か月に1回「クリーングリーン作戦」実施。

(4) 運営方針

法人理念である「共歩・共笑・共育」のもと、利用者様が今まで過ごしてこられた暮らしや環境を大切にしながら、人格及びプライバシーを尊重し、心身機能に応じたサービスを受け、温かい雰囲気の中で穏やかに安心して過ごしていただけるように支援していきます。

また、介護支援専門員と協力し、自立した生活が送れるよう、必要な福祉用具を揃え、個々の状況にあった生活環境を整えるよう努めてまいります。

さらに、利用者様だけでなく、ご家族に対しても丁寧で配慮ある対応を心掛け、ご家族の思い、ご本人の思いを支援に反映し一人ひとりに笑顔で寄り添えるよう努めてまいります。

2 施設の実施策と取組の方向性

(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	職場内の明るい雰囲気や伝わるよう、新しいパンフレットを用いて広報する。
現状と課題	配食の職員が不足している。夜間や休日に出勤できるパートが少ない。広報の幅を広げる検討が必要。
取組の方向性	スマイル広場等にパンフレットや職員募集のポスターを掲示する。職員伝えに募集を発信する。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	指導内容が統一できるよう、マニュアルの整備を行う。
現状と課題	新人・中途採用者に対し、指導内容が統一できていない。
取組の方向性	マニュアルを整備し、既存の職員が統一した支援を行っている状況をつくる。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実施施策	業務量の軽減。
現状と課題	職員の年齢層が高く体力的な問題により、離職する職員が多い。
取組の方向性	広報活動を積極的に行うことで、職員を確保し、負担を分散する。

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	業務量の分散とプライベートの充実。
現状と課題	業務量が多く、肉体的・精神的疲労が蓄積し休みでもプライベートを充実させる余裕が持てない職員もいる。
取組の方向性	正規か臨時職員を増やし、業務量の調整を行い、オン・オフの切り替えができるよう、心に余裕のある日常が送れるようにする。また、面談等を行い、悩みや想いを伝えられる環境を増やす。

(2) 利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	児童部門との連携・交流を行うことで、日曜日の時間を充実させ、子供たちと触れ合うことで利用者の脳の活性化を図る。
現状と課題	感染症の影響もあり、児童との交流がなかなか取れていない。利用者は月曜日から土曜日までデイサービスを利用するため、部屋でゆっくり過ごせる日が日曜日のみではあるが、何も活動がないと、食事やお茶の時間以外はベッドで寝たきりで起きない利用者も多く、夜間眠れないといったことも生じている。
取組の方向性	日曜日に月に1回、山家学園の児童と交流を行う。

イ 安心安全で快適な暮らしを保証し、利用者児の満足度を高める。

実施施策	身元引受人との信頼関係づくり。
現状と課題	入居者の半数以上が90歳以上であり、転倒や体調の急変等が予測される。また、認知機能の低下で物とられや被害妄想などが出現している利用者も多く、連携不足によりトラブルに発展する可能性がある事が課題である。
取組の方向性	日々の状況を把握していただくために日頃から身元引受人との連絡を密に行う。必要に応じた福祉用具を使用し、生活環境を整える。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	利用者家族・地域住民・ケアマネジャーに向けた見学会の実施。
現状と課題	コロナ禍となり、地域住民との関りが少ない。施設での取り組みや状況を地域・ケアマネジャーの方が知らない。
取組の方向性	感染状況を考慮しながら、実施に向けて検討する。

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	入居者確保のための広報活動。
現状と課題	地域に高齢者は多いが、周辺に別の施設もある為、入居者が分散しやすい。また、他事業所のケアマネに利用者の紹介をしてもらいやすい関係性を構築していく必要がある。令和6年4月よりゆふネットが休止するため、外部ケアマネとの連絡は増える状況にある。
取組の方向性	引き続きケアマネジャーと連絡が取れやすいような関係性をつくる。施設の強みを明確にし、チラシの作成と配布を行う事で個人からの依頼を増やす。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	設備費抑制のために、計画的に清掃・点検・修理を行う。
現状と課題	施設が老朽化してきており、突発的な支出が起きる事が課題である。
取組の方向性	設備の清掃を定期的に行う。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	施設内での連携強化と施設間での連携強化を行う。
現状と課題	勤務形態が様々で連絡事項や支援方法の統一が不十分である。デイサービスでの情報を把握していない職員もいる事が課題である。
取組の方向性	共有と確認を確実にしていくためのシステム作りと各自の意識向上。

3 目標利用率

事業名	定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均/月
入居者数	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21

4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

名 称	執行見込額
AED	3 5 0
居室エアコン 2 台	2 0 0
ジェット洗浄機	4 0
ウォシュレット	7 0

5 修繕計画(大規模修繕を除く)

(単位：千円)

名称	執行見込額
配管修繕	2 0 0

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

名称	執行見込額
なし	

7 介護度

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0 名	0 名	3 名	13 名	2 名	2 名	1 名	21 名